

室番号	室名	用途、使用者等	配置等	特記事項	備考
公演記録（調査資料）					
T-1	録音室			・個別空調を設置する。	
T-2	ミキサー室		録音室に隣接	・メインとサブの2室に分割できる構造とする。なお、メインの室は録音室に隣接させる。 ・前室を設ける。 ・個別空調を設置する。	
T-3	ミキサー機械室		ミキサー室に隣接	・個別空調を設置する。	
T-4	映像事務室			・個別空調を設置する。	
T-5	AV室			・メインとサブの2室に分割できる構造とする。 ・前室を設ける。 ・個別空調を設置する。	
T-6	映像システム室		AV室に隣接	・個別空調を設置する。	
T-7	公演記録スタッフルーム	職員、委託業者スタッフのための事務室として使用		・2室に分割できる構造とする。	
T-8	記録用機材庫	精密機械保管に使用		・温度及び湿度管の管理ができるものとする。	
T-9	撮影スタジオ	公演記録写真及び宣伝写真撮影に使用（貸劇場利用者も使用）	大劇場楽屋及び小劇場楽屋に近接（各劇場の衣裳・床山・小道具業者との作業連携に配慮する。）	・出入口は有効開口幅1.5m、高さ2.5m以上を確保する。 ・着替え等のため簡易的な更衣スペースを設け、鏡を設置する。 ・道具保管庫（20㎡程度）を設置する。 ・バック紙設置用設備を設置する。 ・3方壁面にそれぞれ15Aずつの電気回路を設置する。	・備品等：スチールラック、防湿収納ケース、姿見、化粧ドレッサー
レファレンス（調査資料）					
U-1	視聴スペース		レファレンス各室は同区画で配置する。	・個人用（5ブース程度）と団体用（10人／1室、4人／1室程度）の視聴ブースを設置する。	・備品等：視聴ブース、視聴機器（CD、VHS）、ヘッドホン
U-2	貸出用収蔵庫	貸出用映像音声映像資料及びフィルム保管庫として使用	レファレンス各室は同区画で配置する。	・部屋の形状に合わせて集密書架を設置し、可能な限りの収納量を確保する。	・備品等：集密書架
U-3	受付・閲覧スペース	図書資料を収納	レファレンス各室は同区画で配置する。	・受付カウンターを設置する。 ・想定される機器等の電源容量に考慮した電源を設ける。	・備品等：受付カウンター、端末

室番号	室名	用途、使用者等	配置等	特記事項	備考
収蔵庫（調査資料）					
V-1	収蔵庫①(図書資料)	図書資料を収蔵	資料搬入経路及び展示施設への搬入経路に配慮する。また、レファレンスコーナーとの経路に配慮する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収蔵物に応じた温度及び湿度を一定に保つための空調機器を設置し、データロガーにより常時監視を行う。 ・ 清浄な空気環境を保つとともに、湿度を一定に保つ調湿性のある内装とする。 ・ 出入口は有効開口幅2m、高さ2.5m以上を確保する。 ・ 資料の形状に応じた専用収納棚を設置する。 	
V-2	収蔵庫②(博物資料)	博物資料を収蔵 (国立劇場が所蔵する絵画等を含む。)	資料搬入経路及び展示施設への搬入経路に配慮する。また、レファレンスコーナーとの経路に配慮する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収蔵物に応じた温度及び湿度を一定に保つための空調機器を設置し、データロガーにより常時監視を行う。 ・ 清浄な空気環境を保つとともに、湿度を一定に保つ調湿性のある内装とする。 ・ 借用資料の一時保管のため、収蔵資料と区別する一時保管庫を設置する(40㎡程度)。 ・ 資料を仕分けする作業スペースを設置する(40㎡程度)。 ・ 資料を受け入れるための燻蒸装置を設置する。 ・ 出入口は有効開口幅2m、高さ2.5m以上を確保する。 ・ 資料の形状に応じた専用収納棚を設置する。 	
V-3	収蔵庫③(視聴覚資料)	視聴覚資料を収蔵	資料搬入経路及び展示施設への搬入経路に配慮する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収蔵物に応じた温度及び湿度を一定に保つための空調機器を設置し、データロガーにより常時監視を行う。 ・ フィルム、磁気テープなどの記録媒体については、低温、低湿が維持できる空調設備を設置する。 ・ 清浄な空気環境を保つとともに、湿度を一定に保つ調湿性のある内装とする。 ・ 出入口は有効開口幅2m、高さ2.5m以上を確保する。 ・ 資料の形状に応じた専用収納棚を設置する。 	